

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」藤沢校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			パーテーションにより、個々の活動空間を確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	3			常勤2名を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3			文字だけでなくイラストを入れるようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3			日頃から職員同士で話し合っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			HP等で行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3	第三者委員会が立ち上がっていない（周知されていない）ため第三者委員会等の設置を検討する
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			新人向けの研修を含めて充実している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			定期的にモニタリングをするなど工夫を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			計画表を見ながら支援者同士で話し合いを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			計画表を見ながら支援者同士で話し合いを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3			子どもの状況に応じて、課題を考えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			保護者の希望と本人の特性を考えて作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			支援前後に指導員同士での話し合いを実施している。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3			支援前後に指導員同士での話し合いを実施している。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			支援前後に指導員同士での話し合いを実施している。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			全員参加の体制でモニタリングを実施している。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	3			管理責任者が出席するようにしている。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3			連携できるような体制をとっている。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3			協力医と連携をとっている。 重心障害児の利用はない。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			連携できるような体制をとっている。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3			連携できるような体制をとっている。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			連携できるような体制をとっている。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3			子供の通っている場所に連携が取れるように努力している。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3			児発管を中心に研修に参加し、協議会の内容を校舎で共有している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			当日あったこと起きたことは必ず当日中に職員で共有し、対応するように努めている
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3			フィードバック時に家庭での様子を聞き、児童に合わせた声掛けの方法などを保護者と一緒に考えるようにしている。
保護者	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			契約時に保護者にきちんと説明を行い、理解を得ている。 教室で保護者の手の届く所に常時掲示し閲覧できるようにしている。

への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		フィードバック時に学校や家庭での様子を必ず聞くように心掛けている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		小集団や同時支援の療育を通して、保護者同士がコミュニケーションを取れる場面を設定している。
非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		当日に受けた相談は、なるべく当日中に児発管や他の職員に伝達し情報を共有し、早期対応ができるようにしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		ブログや校内新聞の作成を行い、イベントの案内や支援の様子を利用者保護者を含めた外部に向けて情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	3		利用者の個人情報はファイル管理したうえで施錠できる書庫で管理保管している。また、机上整理に努め、個人情報の紛失漏洩がないように努めている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		担当制ではないため、毎回職員間で支援内容や日々の生活について情報を共有している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3		月1回程度、外部向けのイベントを実施し、気軽に体験見学ができるように努めている。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3		月に1回必ず防災訓練を実施し、緊急災害等に備えている。また、毎月の防災訓練に向けた防災計画を利用者保護者の目の届くところに掲示周知している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		月に1回必ず防災訓練を実施し、緊急災害等に備えている。
④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		校舎内や地区全体で研修を受け、対応の方法を学習している。	
④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		契約時に保護者の方にきちんと説明を行い、了解を得ている。	
④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		面談時に必ず聞き取りを行い、基本情報シートに記入し、情報を職員間でも共有している。	
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		過去の事例を職員全体が目を通すように努めている。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」藤沢 校 保護者等数（児童数）：23（24）回収数：22 割合：96.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	2	1	・1フロアなので、同時レッスンの時、声がまる聞こえで、集中しにくい。 ・その活動での人数によると思う。	利用を継続して頂き、事業所を理解して頂く。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	3	1	先生によって差があり、特性を理解して関わってほしい。	保護者としてしっかりとコミュニケーションを図り、利用に対する共通理解を図っていききたい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	7			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	20	2			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	17	5			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	9	12		
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1		連絡ノートに記入してもらっているので、わかりやすい。	保護者としてしっかりとコミュニケーションを図り、利用に対する共通理解を図っていききたい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	6			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		12	10	現時点で苦情等はない。	利用を継続して頂き、事業所を理解して頂く。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	9		・その場になってないの で、なんともいえない。 ・現時点で苦情等はない。	当日に受けた相談は、なるべく当日中に児発管や他の職員に伝達し情報を共有し、早期対応ができるようにしている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	4			

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	5	1		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18	4			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	10	2	特に意識したことはない。	月に1回必ず防災訓練を実施し、緊急災害等に備えている。また、毎月の防災訓練に向けた防災計画を利用者保護者の目の届くところに掲示周知している。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	16	2	特に意識したことはない。	月に1回必ず防災訓練を実施し、緊急災害等に備えている。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	16	6		<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみにしている。 ・もともと苦手ことをしているので。 ・最初は楽しく通っていたが、今は「行きたくない」というようになっている。 	家庭の協力を図りながら、教室利用の目的と行く前の理解を支援し、楽しく利用できるように心掛ける。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	17	5		<ul style="list-style-type: none"> ・開設したばかりなので仕方ないか。 ・今後はもっと専門的な支援をしていただければ、うれしい。 ・学校がづらいので放デイでは楽しくすごして欲しいので、そのような支援をのぞんでいる。 	利用を継続して頂き、事業所を理解して頂く。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。